

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1990100180		
法人名	医療法人社団小羊会		
事業所名	医療法人社団小羊会グループホーム飯田		
所在地	甲府市飯田3-5-3		
自己評価作成日	平成24年1月3日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=19
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成24年2月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

馴染みのある地域の一員として生活できるように支援するように心がけている。利用者様一人ひとりの生活暦・心身の状態や嗜好に合わせた援助に心がけている。また、四季折々の外出を通じ、季節の移り変わりや日常生活の変化を感じていただける生活の支援を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

甲府駅に近い住宅地にあり3年前に開設した地域密着型施設である。高齢者の生活に合わせ段差や扉、洗面台に細やかな工夫と配慮が伺える。地元の利用者が多く、友人の面会や昼食時に必ず様子を見に来る家族の姿がある。地域住民として老人会の寄り合いにも参加し活動している。お祭りではお神酒を頂き、子供神輿が施設前に来ると、おひねりをやって孫たちとふれあうかのように利用者は楽しんでいる。曜日によりヤクルト販売員の訪問がある。金銭感覚維持の為、職員が買い物支援をしている。愛育会活動が盛んで役員が施設に集まり利用者を交え講習会を開催している。会場に施設を提供し住民交流供用の場にもなっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

事業所名 医療法人社団小羊会グループホーム飯田

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「入居者1人ひとりが地域の一住民として社会参加できるように援助します」をはじめに、4つの理念を掲示板に掲示し意識付けを共有し可能な限り実践しています。	「入居者1人ひとりが地域の一住民として社会参加できるように援助します」をはじめに、4つの理念を掲示板に掲示し意識付けを共有し可能な限り実践しています。	地域に根ざした施設で、住み慣れた環境の中で生活する。利用者が支え合い本人の力を活かして生活するなど、4項目の理念を会議などで復唱し心において実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	開設当初から、組長会議に参加している。地区のお祭り・防災訓練・運動会等に参加し、利用者が地域の住民と触れ合う機会を設けている。自治会にも加入しています。	開設当初から、組長会議に参加している。地区のお祭り・防災訓練・運動会等に参加し、利用者が地域の住民と触れ合う機会を設けている。自治会にも加入しています。	施設開設当時から地区の組長会議に参加している。夏祭りやお正月の互礼会に利用者も参加し住民として楽しんでいる。利用者の家が近所なので知り合いが気軽に声をかけてきたり立ち寄ることもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員・愛育会の協力により、地区の老人会の皆様を招いて、講師による研修会の開催、工作等の交流会を実施しています。	民生委員・愛育会の協力により、地区の老人会の皆様を招いて、講師による研修会の開催、工作等の交流会を実施しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では自己評価・外部評価の報告をするともに、改善計画を話し合い意見を求め、そこでの意見を日頃のサービス向上に活かしております。	運営推進会議では自己評価・外部評価の報告をするともに、改善計画を話し合い意見を求め、そこでの意見を日頃のサービス向上に活かしております。	2ヶ月に1度、地域包括、自治会長、民生委員、利用者、家族、職員のメンバーで運営推進会議を行なっている。施設の近況報告を始め外部評価の報告をして家族や参加者の意見を聞き施設の改善に努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて連絡を取っています。運営推進会議にも参加していただいております。	必要に応じて連絡を取っています。運営推進会議にも参加していただいております。	地域包括支援センターの担当者と連絡を取り合い施設の「お便り」も届けている。ケアマネジャーの交流会に参加して研修した事を職員につなぎ質の向上に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月に一回行っている、全体会の中で定期的に勉強会を行っています。外部の研修にも参加。個々に職員が身体拘束に対して理解を深めるようカンファレンスの中に取り入れ、委員会の設置も検討しています。	月に一回行っている、全体会の中で定期的に勉強会を行っています。外部の研修にも参加。個々に職員が身体拘束に対して理解を深めるようカンファレンスの中に取り入れ、委員会の設置も検討しています。	身体拘束の勉強会が、レポートを提出しカンファレンスでも再確認している。利用者の外出(帰宅願望)は見守りで自由に行っている。利用者の心の世界に少しでも近づくように尊敬の念を持ちスピーチロックも職員同士で注意しあっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束の勉強会の際、高齢者の尊厳、モラルや法令遵守について理解を深めています。	身体拘束の勉強会の際、高齢者の尊厳、モラルや法令遵守について理解を深めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用している利用者があります。一部職員は制度について理解しております。更なる理解の為、外部の研修にも参加しております。	成年後見人制度を利用している利用者があります。一部職員は制度について理解しております。更なる理解の為、外部の研修にも参加しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に至るまでに、ホームの考えや取り組み内容をきちんと説明。運営規定・重要事項等わかりやすく説明し、不明な点がないように不安にならないように理解していただき同意を得ます。要望や疑問についても聞いております。	契約に至るまでに、ホームの考えや取り組み内容をきちんと説明。運営規定・重要事項等わかりやすく説明し、不明な点がないように不安にならないように理解していただき同意を得ます。要望や疑問についても聞いております。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議には、全員の出席を募り、多くの方の参加を頂き意見等を聞き、来訪時には個別の対応をしております。出された要望・意見は職員に伝達しカンファレンスでは話し合い運営に反映しています。	運営推進会議には、全員の出席を募り、多くの方の参加を頂き意見等を聞き、来訪時には個別の対応をしております。出された要望・意見は職員に伝達しカンファレンスでは話し合い運営に反映しています。	利用者の家族が面会に来た時に意見や要望を聞いている。運営推進会議でも一方的な意見でなく全員で話せるように工夫している。行事の時は家族の協力で楽しい時が過ごせ感謝している。	玄関フロアに職員の写真と名前を紹介するコーナーの設置を期待する。氏名で呼ぶことで利用者家族と近親感が深まり質の向上に繋がる。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会や、カンファレンス等で、職員の要望を聞く機会を設けています。職員同士の連携や和が崩れないように努めています。また、年2回個別面談を行っております。	全体会や、カンファレンス等で、職員の要望を聞く機会を設けています。職員同士の連携や和が崩れないように努めています。また、年2回個別面談を行っております。	管理者は研修会やカンファレンスの時以外にも職員の相談に気軽に応じている。2ユニットで夜勤1人では心細く大変なので2人にして下さいと提案した所、改善され安心して見守りができ働きやすくなった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意識が向上するように、職員個々が自己目標を立て自己評価をしてもらいます。更に個人面談等を行い、個々の実績や実力を把握して定期的に、給料・賞与・助成金支給の目安にしています。個々に合わせ外部研修・内部研修を推進しております。	職員の意識が向上するように、職員個々が自己目標を立て自己評価をもらいます。更に個人面談等を行い、個々の実績や実力を把握して定期的に、給料・賞与・助成金支給の目安にしています。個々に合わせ外部研修・内部研修を推進しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員各自に応じた資格取得も含めて、学びの場を推奨。外部の研修にも積極的に参加する機会を作っています。内部の勉強会も計画的に毎月実践しています。	職員各自に応じた資格取得も含めて、学びの場を推奨。外部の研修にも積極的に参加する機会を作っています。内部の勉強会も計画的に毎月実践しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	甲府市主催のグループホーム交流会に参加、研修を通じてサービスの向上に取り組んでおります。山梨県グループホーム協会に加入し相互に情報の交換・研修を通じ質の向上に取り組んでおります。	甲府市主催のグループホーム交流会に参加、研修を通じてサービスの向上に取り組んでおります。山梨県グループホーム協会に加入し相互に情報の交換・研修を通じ質の向上に取り組んでおります。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が安心したサービスを利用するために、本人・家族や職員と相談し、思いを受け取り環境に馴染めるように支援しております。	本人が安心したサービスを利用するために、本人・家族や職員と相談し、思いを受け取り環境に馴染めるように支援しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思い、背景をよく聞いた上で、ニーズの再確認を行い、本人にとって一番よいサービスを一緒に考えながら信頼関係を築いております。	ご家族の思い、背景をよく聞いた上で、ニーズの再確認を行い、本人にとって一番よいサービスを一緒に考えながら信頼関係を築いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャー・相談員・包括などと連携をとり、その方に合ったサービスの利用を勧めています。	担当ケアマネジャー・相談員・包括などと連携をとり、その方に合ったサービスの利用を勧めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員主導の支援ではなく、ともに生活しているを、第一に念頭に置き、コミュニケーションを大切に、支えあいながらの生活を目指す。	職員主導の支援ではなく、ともに生活しているを、第一に念頭に置き、コミュニケーションを大切に、支えあいながらの生活を目指す。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と本人の関係性が途切れないように、家族と触れ合う時間をできるだけ取っていただくようお願いし、一緒に支えあう関係作りを努めている。家族参加の行事を行っております。	家族と本人の関係性が途切れないように、家族と触れ合う時間をできるだけ取っていただくようお願いし、一緒に支えあう関係作りを努めている。家族参加の行事を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	従来の生活時と変わらない生活ができるよう、アセスメントから知り得た情報を元に行きつけの美容院・自宅・商店・友人・お墓参り等、家族の協力のもとできる限り交流する機会を設け支援しております。	従来の生活時と変わらない生活ができるよう、アセスメントから知り得た情報を元に行きつけの美容院・自宅・商店・友人・お墓参り等、家族の協力のもとできる限り交流する機会を設け支援しております。	この地域で暮らしていた利用者が多く、近所の友人が訪問に立ち寄り。前を流れる川に小魚がいるのでエサをやりに行く。見慣れた甲府の街並み、頬を撫でる風が住み慣れた故郷。職員は利用者の友人たちの交流支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が会話を楽しめるよう職員が橋渡しに努め、一緒に多くの会話を持つようになっています。利用者同士が支えあい仲良くなる調整役になり関係を見守っています。	利用者同士が会話を楽しめるよう職員が橋渡しに努め、一緒に多くの会話を持つようになっています。利用者同士が支えあい仲良くなる調整役になり関係を見守っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	状況に応じて、相談支援しフォローしております。	状況に応じて、相談支援しフォローしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	馴染みの関係ができてくと、思いや希望を日々の暮らしの中から聞く機会が持てるようになります。困難な場合は利用者同士の会話の中から、家族との話の中から、本人の思いを「見つける」「気づく」ように努めております。	馴染みの関係ができてくと、思いや希望を日々の暮らしの中から聞く機会が持てるようになります。困難な場合は利用者同士の会話の中から、家族との話の中から、本人の思いを「見つける」「気づく」ように努めております。	家族と一緒に手芸教室に行く利用者がいる。素敵なりボン刺繍の春らしいのれんを作ってきた。部屋の入口に飾って明るい部屋となっている。手作業の好きな利用者は新聞折りをしたり本人の能力を活かして生活している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	環境が変わることでの、精神的負担を考慮し日常生活していた家具等なじみの品物を、持参して頂き、今までなじんできた生活環境に近くするように努めています。	環境が変わることでの、精神的負担を考慮し日常生活していた家具等なじみの品物を、持参して頂き、今までなじんできた生活環境に近くするように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	今までの生活ペースを大切にして、その方のできることを把握して、職員間で情報の共有し職員主導にならないように努めています。アセスメントを考慮し、本人の思いを聞きながら、実際の動きの確認をしております。	今までの生活ペースを大切にして、その方のできることを把握して、職員間で情報の共有し職員主導にならないように努めています。アセスメントを考慮し、本人の思いを聞きながら、実際の動きの確認をしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にモニタリングを行い、状況変化がみられた時にカンファレンスを行なっています。本人の意向、家族の思い職員の意見を聞き、計画作成を行っています。	定期的にモニタリングを行い、状況変化がみられた時にカンファレンスを行なっています。本人の意向、家族の思い職員の意見を聞き、計画作成を行っています。	毎月1回モニタリングを行い日々の状況は連絡ノートに記入して確認している。短期3か月、長期6か月の見直しで担当者、職員の意見を把握して介護計画を作成している。状況変化の際はその都度見直しを行い家族にサインを頂いている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	口頭での引き継ぎと、職員同士連絡ノートを利用し、確実に申し送りを行います。個々の記録は、ケアプランに沿った内容としています。職員の意見・疑問はカンファレンスシートを会議で使用し、介護計画作成に活かしております。	口頭での引き継ぎと、職員同士連絡ノートを利用し、確実に申し送りを行います。個々の記録は、ケアプランに沿った内容としています。職員の意見・疑問はカンファレンスシートを会議で使用し、介護計画作成に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常にニーズの変化を捉えながら、介護保険法の枠内で、可能な限り対応、地域行事への参加、利用者の希望による外出を行っております。	常にニーズの変化を捉えながら、介護保険法の枠内で、可能な限り対応、地域行事への参加、利用者の希望による外出を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会・愛育会・老人クラブと交流し、必要に応じて包括にも参加して頂き、施設の在り方の理解に努めております。	自治会・愛育会・老人クラブと交流し、必要に応じて包括にも参加して頂き、施設の在り方の理解に努めております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本は、家族対応だが、受診前には心身の状態の報告を家族に連絡し、スムーズな受診ができるよう支援を行います。また、必要に応じて直接連絡することもあったり、通院介助や往診のケースもあります。	基本は、家族対応だが、受診前には心身の状態の報告を家族に連絡し、スムーズな受診ができるよう支援を行います。また、必要に応じて直接連絡することもあったり、通院介助や往診のケースもあります。	かかりつけ医の対応は家族が行うが時には職員が通院介助をすることもある。共立病院が指定医となっているので往診をしてくれる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が常駐していない為、必要に応じて訪問看護師へ相談することがあります。	看護師が常駐していない為、必要に応じて訪問看護師へ相談することがあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリーを作成し情報提供しています。退院に向け担当医師や看護師、家族と密に連絡を取り連携しながら、入院中病院に訪問し、不安の除去に努めると同時にアセスメント・ケアプランを作成して、家族と連携しながら退院支援しています。	入院時はサマリーを作成し情報提供しています。退院に向け担当医師や看護師、家族と密に連絡を取り連携しながら、入院中病院に訪問し、不安の除去に努めると同時にアセスメント・ケアプランを作成して、家族と連携しながら退院支援しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合本人・家族の意志を確認し、終末期のあり方を家族・医師・管理者を交え話し合い、事業所で出来ることを説明し今後の方向性を決め医療機関との連携、支援を行っています。	重度化した場合本人・家族の意志を確認し、終末期のあり方を家族・医師・管理者を交え話し合い、事業所で出来ることを説明し今後の方向性を決め医療機関との連携、支援を行っています。	終末期看取りについては入居時に家族と利用者、管理者で充分話し合っている。家族の希望を書面にし医師と連絡を取り合い看とった例もあるが緊急搬送で最後病院で看取った事もあった。医師、家族、職員は時間を共有して支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルに沿って対応できるようトレーニングしており、外部の研修にも参加しています。消防署の救護訓練参加をしております。	緊急時マニュアルに沿って対応できるようトレーニングしており、外部の研修にも参加しています。消防署の救護訓練参加をしております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災避難訓練は日中想定にて、消防署の協力のもと実施。自治会の防災訓練にも参加。地区の避難場所近く(報告)へ、可能な利用者とは散歩にております。現在、地区の協力のもと消防署の指導による火災報知機を使用した訓練を行いました。	火災避難訓練は日中想定にて、消防署の協力のもと実施。自治会の防災訓練にも参加。地区の避難場所近く(報告)へ、可能な利用者とは散歩にてしております。現在、地区の協力のもと消防署の指導による火災報知機を使用した訓練を行いました。	火災に備えてスプリンクラーが取り付けられている。防災訓練は8月と10月に消防署の協力で行っている。消火器の取り扱いを職員が学び近所や組の手助け、救助もお願いしている。近くに川があるので水害対策も取り入れたい。セコム直通の緊急体制もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴時や脱衣時、トイレ誘導、失禁時の対応等羞恥心の配慮やプライバシーの確保等について、職員報告を行っている。全体会の中でも定期的に職員間で確認し、問題意識のピックアップや振り返りの中で向上しています。	入浴時や脱衣時、トイレ誘導、失禁時の対応等羞恥心の配慮やプライバシーの確保等について、職員報告を行っている。全体会の中でも定期的に職員間で確認し、問題意識のピックアップや振り返りの中で向上しています。	広いフロアで職員と利用者は家族のように語り肩もみなどスキンシップもしている。男性の床屋も家族の依頼でバリカンを使用してカットされている。頭をなでたり肌にふれたり何気ない会話にお互いの思いやりが伝わる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者とのコミュニケーションを大切に、何をしたいか、何が出来るかアセスメントから知り得なかった「情報」「思い」を探り、声かけしながら希望を言える環境づくりに努めております。	利用者とのコミュニケーションを大切に、何をしたいか、何が出来るかアセスメントから知り得なかった「情報」「思い」を探り、声かけしながら希望を言える環境づくりに努めております。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の体調や気分を見極め、食事時間・お部屋での食事や入浴時間、買物希望の方の支援。外出等その日のペースに合わせてできる限り支援を行っております。	本人の体調や気分を見極め、食事時間・お部屋での食事や入浴時間、買物希望の方の支援。外出等その日のペースに合わせてできる限り支援を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の使用していた化粧品や好みの洋服など家族に用意していただいたり、本人と買物に行き好みの化粧品や洋服を購入して、その人らしさが失われないようにしております。髭剃りは可能な限り本人が行い、困難な場合は支援しております	本人の使用していた化粧品や好みの洋服など家族に用意していただいたり、本人と買物に行き好みの化粧品や洋服を購入して、その人らしさが失われないようにしております。髭剃りは可能な限り本人が行い、困難な場合は支援しております		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホーム庭の菜園に野菜を育てています。収穫し食べることを楽しみにしております。食材の買物にも一緒に出かけたり、洗米、汁物調理、片付け、配膳洗い物の一連の流れを必要な限り、共に行っております。	ホーム庭の菜園に野菜を育てています。収穫し食べることを楽しみにしております。食材の買物にも一緒に出かけたり、洗米、汁物調理、片付け、配膳洗い物の一連の流れを必要な限り、共に行っております。	お昼の盛り付けと配膳を利用者が楽しそうに行っている。利用者が夏野菜を庭で栽培しているので収穫時は自家製野菜を食べることができる。働く喜びや奉仕の感動を共に共有している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一食あたりのカロリーを把握しており、食事量や水分チェックを表にして確認しております。体調変化時・発熱時や排便コントロールに活用しております。	一食あたりのカロリーを把握しており、食事量や水分チェックを表にして確認しております。体調変化時・発熱時や排便コントロールに活用しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施しております。声掛け誘導し、できる限り本人にさせていただきます。不足箇所に関しては職員が行います。夜間は義歯の方は、ポリドントにて洗浄・除菌して清潔保持を行っております。	毎食後口腔ケアを実施しております。声掛け誘導し、できる限り本人にさせていただきます。不足箇所に関しては職員が行います。夜間は義歯の方は、ポリドントにて洗浄・除菌して清潔保持を行っております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用。排泄パターンを知り時間や習慣に沿ってトイレ誘導声掛けを行い、トイレでの、気持ちよい排泄に繋げております。	排泄チェック表を使用。排泄パターンを知り時間や習慣に沿ってトイレ誘導声掛けを行い、トイレでの、気持ちよい排泄に繋げております。	日中はオムツを外しチェックシートで時間や顔色を見てさりげなくトイレ誘導をしている。一人で排泄を済ませる事のできる利用者は職員がドアの外で見守り、汚れた時は羞恥心を考慮し取り換えている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操や、その方に合わせた水分摂取量を心がけ、個々の排便パターンを確認し、食事・飲料・ヨーグルトやヤクルト等を摂っていただいております。	毎日の体操や、その方に合わせた水分摂取量を心がけ、個々の排便パターンを確認し、食事・飲料・ヨーグルトやヤクルト等を摂っていただいております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の希望を聞きながら、通常は家庭風呂を使用しております。ときに、気分を変え大浴室の炭酸温泉も使用するときもあります。	入浴の希望を聞きながら、通常は家庭風呂を使用しております。ときに、気分を変え大浴室の炭酸温泉も使用するときもあります。	時間に関係なく何時でも入浴できる。2階には5人位入れる大風呂の炭酸泉があり、利用者同士で入浴する事もある。入浴希望を聞いて職員は介助支援をして衛生保持に努めている。時々入浴剤でお風呂の色を変え香りを楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	アセスメントに基づき、生活習慣を把握した上で、生活リズム作りを行っておりますが、その日の状態(外出等)により、休息が必要な場合取り入れております。夜間眠れない方はフロアにて職員と眠くなるまでお話し、個別に配慮しております。	アセスメントに基づき、生活習慣を把握した上で、生活リズム作りを行っておりますが、その日の状態(外出等)により、休息が必要な場合取り入れております。夜間眠れない方はフロアにて職員と眠くなるまでお話し、個別に配慮しております。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(一番館)	ユニット名(二番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	家族、医療関係者より、服薬内容の情報を頂き、薬の情報はファイリングしており、職員がいつでも確認できるようにしてある。受診後薬の変更があった場合必ず申し送りを行い、状態等の観察を行っています。	家族、医療関係者より、服薬内容の情報を頂き、薬の情報はファイリングしており、職員がいつでも確認できるようにしてある。受診後薬の変更があった場合必ず申し送りを行い、状態等の観察を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人らしさが活かせるように、生活歴のアセスメントから役割につなげるようにしております。掃除・洗濯・炊事・庭の草取り個々にできてみたいこと探そうようにしております。また、季節に応じた花見・葡萄狩り・紅葉散策等を行っています。	その人らしさが活かせるように、生活歴のアセスメントから役割につなげるようにしております。掃除・洗濯・炊事・庭の草取り個々にできてみたいこと探そうようにしております。また、季節に応じた花見・葡萄狩り・紅葉散策等を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出以外にも日常的に散歩・買物・ドライブ外食など行っております。希望があれば自宅までの外出支援もしております。また、地区の行事にも参加していただいております。	外出以外にも日常的に散歩・買物・ドライブ外食など行っております。希望があれば自宅までの外出支援もしております。また、地区の行事にも参加していただいております。個別に家族の協力のもと、地域のパッチワーク教室に参加されております。	博物館や美術館、ドライブに出掛け四季の様子を身体で感じ五感の活用にも努めている。玄関の掃除も利用者が日課で行う。近所の自宅に出掛けたり、職員はさりげなく、おしゃれの心得も忘れないように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で財布の管理をされ買物の際、支払されている方もおりますが、基本は事務所管理としてあり、外出時や買物時に職員が付き添いお金を渡し買物されております	ご自分で財布の管理をされ買物の際、支払されている方もおりますが、基本は事務所管理としてあり、外出時や買物時に職員が付き添いお金を渡し買物されております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話が事務所窓口に設置しており、希望により自宅・親戚への電話は支援しております。手紙やハガキの希望があれば、支援できる体制としておりますが、現在希望の方はおりません。	公衆電話が事務所窓口に設置しており、希望により自宅・親戚への電話は支援しております。手紙やハガキの希望があれば、支援できる体制としておりますが、現在希望の方はおりません。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じられる大きな窓が、フロアにあり外の様子がみられます。庭には、木を植えた花を育てております。廊下やフロアには、絵画を飾り、今は近隣の園児の絵も飾っております。	季節感を感じられる大きな窓が、フロアにあり外の様子がみられます。庭には、木を植えた花を育てております。廊下やフロアには、絵画を飾り、今は近隣の園児の絵も飾っております。	広いフロアは車椅子がゆったり通れるフローリングになっている。壁に園児の絵や和紙の雛人形が飾られ、季節感を感じることができる。4時になると全員でリズム飯田体操が始まる。これは毎日なので習慣となり利用者が「もう時間ずら」と言って集って来る。楽しい共有の共用空間となり活用している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部分のフロアは、フローリングで椅子・テーブルスペースと、畳を敷いた和室部分から成っており、談笑したり午睡をされる利用者もおります。	ソファを置いて、休まれたり、会話を楽めるような場所を考えております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安心できるよう、可能な限り、今まで暮らしてきた居住空間の継続を考え、布団・鏡台・仏壇等の使用していた物を、もってきて頂き配置しております。	安心できるよう、可能な限り、今まで暮らしてきた居住空間の継続を考え、布団・鏡台・仏壇等の使用していた物を、もってきて頂き配置しております。	部屋の入口に可憐な花の絵が飾られ利用者の表札がある。入居時に家族と話し合い自分の使い慣れた家具や道具を持参している。ペットや机、ダンスには下着、靴下など何が入っているか解かるように紙に書いて貼ってある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内全てバリアフリーとなっておりますが、その方のADL体調等に合わせ、適宜声掛け、居室ドア等の飾りを行っているが、今後も更なる改善を目指しております。	施設内全てバリアフリーとなっておりますが、その方のADL体調等に合わせ、適宜声掛け、居室ドア等の飾りを行っているが、今後も更なる改善を目指しております。		